

会員だより



## THE LONGEST DAY (史上最大の作戦)

～北海道からの脱出

薮 和夫

小学生になりたての頃、母に連れられ町の映画館で初めて見た映画が、「史上最大の作戦」原題は THE LONGEST DAY でした。第二次世界大戦中の連合国のヨーロッパ反攻の、幕開けになったフランスノルマンディー海岸への上陸作戦の戦争映画でした。今回の私の脱出劇はその何万分の1、いや何億分の1にも過ぎませんが、私にとっての忘れえぬ THE LONGEST DAY でした。

今から3年前、2018年9月3日～6日3泊4日の北海道ゴルフ旅行に行きました。仲人の高校バレー部顧問のT先生夫妻と友人K君の4人旅。そして2日後の9月8日からは、クロアチア旅行で意気投合したYさん、Mさん夫妻と8日間のポルトガル旅行。最高の2週間になる予定でした。9月3日北海道に向けて岡山空港からANA379便にて千歳に。レンタカーで近郊観光や買い物をして、ホテルへチェックイン。

9月4日は台風21号が接近し、風速20mを超える強風下の御前水GCでプレー中、女房から「関西を台風21号が直撃、関西空港連絡橋にタンカーが衝突し連絡橋が一部破損、通行不能、9月8日発ポルトガル旅行は中止かも」との電話。JTBから「関西空港から中部国際空港へ出発が変更になる」との連絡に、何度も女房やJTBと連絡を取り合い、新幹線、名鉄等の変更も完了。その夜は猛烈な暴風雨でしたが、明日は台風一過を期待し、就寝。



9月5日は快晴も、北海道クラシックGCはコース整備の為クローズ。何とかシャムロックCCを探しプレーするも、フェアウェー、グリーン、そしてカート道にも根こそぎ倒れた倒木が散乱。他のゴルファーも殺到していて大混雑、結局残り2ホールを残し日没サドンレス。明日の札幌国際島松GCも確認すると、クローズとのこと、他を探しても全てのゴルフ場はクローズ。踏んだり蹴ったりのゴルフ旅行になり、4人とも諦めて、就寝。

9月6日3時過ぎ、強烈な地震に飛び起きました。北海道胆振東部地震である。6月開業の新築ホテル、耐震構造も抜群？しかも最上階の11階。すごい横揺れ、縦揺れが1分ほど続き、T夫妻、K君と停電で真っ暗の中、エレベーターも動かず、階段で1階ロビーに。水道、電気が止まり、トイレも使えず、朝食も準備できず、余震もあり、約4時間ロビーで待機。情報がない中で隣のコンビニに行くと、人が集まり、携帯電話の充電器は売り切れ、食料品も全くなく、街は無音、ゴーストタウン。レンタカーで信号停止の交差点等を慎重に運転し、水道局で非常用飲料水を8袋確保。街中を走り回り、約1時間並び、食事に「から揚げ」を確保、ホテルの11階まで階段を2往復し、そ

れらを部屋に運び込む。昼頃、札幌を含め北海道中が停電したこと、主力火力発電所が機能不全に陥り復旧には相当な時間を要することが判明。特に千歳空港は震度7の地震で、インフラ（水道、電気）がマヒ、施設も甚大な被害を被り、終日閉鎖とのこと。搭乗予定の18時30分発ANA380便も運休、岡山には帰れない。JTBと連絡を取り、明日9月7日の岡山直行ANA380便を何とか4席確保し、念の為9月8日の同じ便も仮予約しました。私を除く3人はこれでとにかく岡山に帰れるとすっかり元気になるのだが、私には、次のポルトガル旅行が待っています。

支配人は札幌から通勤の為不在、ホテルスタッフも経験不足。200人近い宿泊客は情報不足、案内不足でイライラが募る中、昔取ったなんとやらで、あれこれアドバイスをして、前泊者の宿泊を優先してもらい、ホテルの好意で無料で我々の寝る場所は確保できた。

地震発生から12時間が経過し、少しずつ情報がスマホやレンタカーのラジオから入る。やはり千歳空港の復旧は早くて7日午後にずれ込むとのこと、自衛隊も滑走路等を共有しており、政府も含め全力で取り組んでいるが、7日午後に確実に千歳空港が運用を開始できる保証はない。幸い新幹線は動いており、私は確実に陸路で岡山に帰る方法を検討。

ホテルから道央自動車道に乗り約40分で苫小牧西港へ。川崎近海汽船（現在はシルバーフェリーが2便運航）がフェリーを21時15分から次の0時過ぎ、明けて7日の3時過ぎ、6時過ぎと運航しており、所要時間約7時間30分で八戸港に着く。最悪でも7日6時過ぎの便に乗れば、八戸港からタクシーで八戸駅へ行き、東北新幹線3時間弱、東海道新幹線約3時間と乗り継げば岡山駅に23時過ぎに着くことができることを確認。しかし、フェリー会社に何度電話するも通じず、ゴルフバッグ等は友人に頼み、タクシーを探す。だが停電でガソリンスタンドが全く稼働できず、タクシーは燃料切れを恐れ、なかなか苫小牧西港までは行ってくれない。やっと夕方18時過ぎにタクシーを確保し、苫小牧西港へ。着くと港は大混雑。北海道中から本州へ脱出しようと苫小牧西港へ殺到していた。聞けば約1200人定員の各便は既に全便満席で、キャンセル待ち番号を取るも100番以上。21時15分の便は早々と乗船不可。次の0時の便を待つも、これも乗船できず、更に次の午前3時の便に賭けたがこれも乗船不可。各便20人程度しかキャンセル待ちで乗船できない。午前2時ごろ係員が、私のキャンセル待ち番号では午前6時の便も乗船は難しい、と。仕方なく、再度千歳に戻り今日7日の18時30分の岡山直行ANA380便に賭けるしか道はなくなる。ところが今度は千歳に戻るタクシーが捕まらず、電話をしようにも携帯電話のバッテリーがなくなりかけ、港も停電の為コンセントから充電できず、ギリギリで、タクシーが捕まり、やっと4時過ぎホテルへUターンする。2時間ほど仮眠し、「とにかく千歳空港へ行こう」と7日6時過ぎレンタカーで千歳空港に向かう。返車し、8時頃空港ターミナルビルへ行くと、入場禁止とのことで、徹夜組も含め数千人もの乗客が周囲に溢れ、あちこちで小競り合いが発生し、阿鼻叫喚の世

界になっていた。11 時ごろやっとビルシャッターが開き、警察官、警備員の物々しい誘導の下、空港ビル内なだれ込む。ANA カウンターへ行くと、岡山行き ANA380 便は 14 時過ぎにならないと飛ぶかどうかわからないと係員の答え。機材繰りがつかない可能性の為、とのこと。空港内は薄暗く、レストラン、土産店、売店は全てクローズ、自販機も使えず、腹が減りました。15 時過ぎにとりあえず、予約者優先で、搭乗券に引き換え、搭乗ゲート前で待機となり、運命の一瞬を待ちました。16 時頃にフライトボードがパタパタと動き、やっと岡山行き ANA380 便の運航が決定。千歳空港に到着して 11 時間後、機内で私はやっと手に入れた弁当をほおぼり、明日から行くポルトガル旅行に思いをはせました。それにしても長い長い 1 日、THE LONGEST DAY でした。

